

## 復活の土曜日の説教

金 大烈 神父 2010年4月10日(土)

### 《復活の体験は、求める心》

この一週間ずっと、第一朗読では『使徒ペトロと他の弟子たちが、苦勞をしながら、人々にイエス様のことを述べ伝える』内容が読まれましたね。そして福音では逆に『イエス様を信じることの出来ない弟子たち』の話が読まれました。「復活なさった後も、イエス様が直接現れていろいろな印を見せるまでは、ペトロを含めその死の歩みを全部見てきた弟子たちも信じなかった」という話が読まれましたね。

今日の福音(マルコ 16・9 15)も全く同じでした。マグダラのマリアの前に復活されたイエス様が現れ、マグダラのマリアはそのことを弟子たちに伝えたいけれど、信じてもらえませんでした。エマオへ行く二人の弟子たちも、復活したイエス様に出会った話をしましたが、信じてもらえませんでした。そしてその後、イエス様はもう一度現れて、弟子たちをとがめられたのですね。

さあ、マグダラのマリアは、イエス様に出会った復活の体験を伝えようと思いました。しかし弟子たちは信じませんでした。その理由は何だったのでしょうか。11人の弟子たちもマグダラのマリアと共にイエス様の傍にいました。むしろ、11人の弟子たちのほうがマグダラのマリアよりもイエス様と共にいた時間が長く、体験も豊富だったはずですが、信じませんでした。その理由は何だったのでしょうか。今日皆様にお話ししたいことはこれだけです。

“マグダラのマリアは、イエス様に七つの悪霊を追い出していただいた婦人だ”という話があります。一つの悪霊ではなくて、七つの悪霊です。『七つの悪霊』というのは、イスラエル人の表現としては、本当にいろいろな悪いことが際立っている、ということです。誰が見ても、顔さえ見たくないくらい悪い条件に陥っている、ということです。一つの悪霊に取りつかれても本当に不幸だと言われるのに、七つの悪霊に取りつかれているのです。『七』という数字は、イスラエル人にとっては完璧な数です。ですから、“悪いことが完全にこの人を襲った”ということです。そして、そのような状況からイエス様に救われたのです。或る聖書学者は、「姦通が知られてしまい、殺される直前にイエス様に救われた女がこのマグダラのマリアだろう」と言っています。その人がどのような生き方をしたか、私たちに十分想像ができます。そのような女の人がイエス様に救われたのです。結果として、彼女は完全にイエス様という人物に好意を持ったでしょう。ものすごく強い心の働きを体験したと思います。そして、イエス様はそのような人に一番大事な復活の事件を見せてくださったのです。

一方、12人の弟子たちの姿はどうだったのでしょうか。1人は裏切り者、11人はいつも逃げてばかりでした。しかしその12人も、イエス様が行ったいろいろな不思議なこと、教え、み言葉を全部体験したのです。ただし、違いがありました。マグダラのマリアは、自分が直接救われた人です。“イエス様によって自分が救われた”ということを経験した人です。

しかし、12人の弟子たちは、イエス様のことをよく見ては来たけれど、自分が救われているのか、それとも間違えた道を歩んでいるのか、いつも迷いの中にいたわけです。だから逃げたのでしょう。

「この方に全てをかけても惜しくはない。」という気持ちだったら、たぶん逃げる姿は見せなかったでしょう。「この方と一緒に死んでもよい」という確信があったら、卑怯な姿は見せなかったでしょう。

しかしマグダラのマリアはそうではありませんでした。「この人によって命が救われ、生きる意味を見いだせた。」という強い体験があったために、人の目を意識しないで、あちこちイエス様を探し求めたのです。このような心だから復活の体験ができたのだと思います。

私たちは、こういう面で振り返ってみる必要があるのではないのでしょうか。「復活、おめでとうございます。」と言っている、習慣や、頭で考えているだけで言っていたら、復活の体験ができるはずはありません。復活の体験というのは、求める心です。「いろいろな罪ばかり犯している人生ですが、あなたの慈しみによってもう一度生き返りたいです。あなたとともに復活したいです。」という強い願いがない限り、復活の体験はできないと思います。

その後弟子たちは、聖霊降臨によって、180度変わります。卑怯で臆病な弟子たちが、人々の前で、命をかけて、大胆な態度で述べ伝えるようになります。私たちも弱さを認め、イエス様が送ってくださる聖霊の働きを受けることにより、完璧に変われると思います。

復活の体験のために、私たちが求めなければならないものがいくつかあります。

まず、イエス様です。

次は、イエス様がくださる聖霊です。

そしてその聖霊の働きで生きることを望まなければならないでしょう。

それができれば、私たちはたぶん、どんなことが起きても揺るがない信仰の道を歩めると思います。

ありがとうございました。